

尚徳寮

平成29年12月22日

鳥取大学附属中学校

No. 10

明日から17日間の冬休みに入ります。生徒たちには生活リズムを崩すことなく、有意義に過ごしてほしいと願っています。1・2年生には家の手伝いなどで、家族の一員としての自覚を持たせてやっていただけたらと思います。3年生は受検に向けた学習で休みどころではないかもしれません。年明けには各私立・県立高校の入試も控えています。それぞれの進路実現に向けて充実した冬休みとなるよう祈念します。

保護者の皆様には、今年一年、様々な形で学校の教育活動を支えていただき、ありがとうございました。皆様、良いお年をお迎えください。



文化祭 展示の部開催

後期生徒会活動、がんばっています!

魅せよう! みんなの附中力

10月にとりぎん文化会館で開催したステージの部に引き続き、文化祭展示の部を13日(水)から19日(火)まで本校多目的ホールで開催しました。ステージの部と展示の部の二部構成で実施するのは、生徒もじっくりと鑑賞できるからです。期間中は後期懇談会も実施され、多くの保護者の方にもご覧いただけたことと思います。文化祭は、教科や部活動で学習した成果を発表する場、表現する場です。どの作品も今までの学習の積み上げを感じさせるものでした。



ボランティアを募り、毎週水曜日以外の朝10分間、「あいさつ運動」を実施しています。誰でも気軽に参加できます。



委員会の現状を提示することで、全校生徒がリアルタイムで活動を知ることができます。生徒同士のつながりを深める為玄関にボードを設置しています。

3年生、保育実習実施!

先週から今週にかけて、「幼児」について学習している3年生が保育実習に行きました。クラスごとに附属幼稚園に行き、幼児と遊ぶことを通して、幼児への理解を深めました。年少・年中・年長と言葉も遊びも違いますが、幼児のペースに合わせて接する姿や幼児の話にしっかり耳を傾け丁寧に言葉を返す3年生の姿がみえました。「意外と会話ができた!」など、イメージと違う幼児の姿に様々な発見がありました。



クロスボーダー(日本-ロシア)・レッスンにチャレンジ!

日本とロシアを Skype でつなぎ、「環境問題について数学のグラフを通して考える」クロスボーダー・レッスンを実施しました。

附属中学校1年 A 組の生徒とロシア内陸部の都市ヤクーツクの中学 2 年生が、「エネルギー総供給量」と「CO2 排出量」の関係をグラフから読み取り、交互に発表していきました。授業の感想として、ロシアの中学生からは、「日本の生徒とコミュニケーションできてよかった」、「分かったこともあったが、質問したいことも増えた」等の感想をリアルタイムで聞くことができました。1年 A 組の生徒からも、「ロシアの生徒が理由をつけて意見を述べていたのがすばらしかった」、「自分たちにはない考えが聞けてよかった」等の振り返りがありました。最後に、お互いに手を振り合い、授業を通しての交流を締めくくりました。



大会・コンクール結果～栄光を讃える～

- 平成29年度東部地区中学生選抜インドアソフトテニス大会
男子の部 優勝 本庄 朝英・近藤 智仁ペア
- 第40回全日本アンサンブルコンテスト
打楽器 4重奏 銀賞 2年山本 采英、1年小谷 和樹、寺岡 樹一、藤島 賢悟
管楽 5重奏 銀賞 2年小林 日菜、平石 結惟、平尾 桜、1年池田 光里、平澤 凜
- 平成29年度防災ポスターコンクール
銅賞 1年 大森 菜々美 努力賞 3年 小林 夏菜、1年 小原 加也
- 鳥取市水道局主催 第17回児童生徒図画・ポスターコンクール
努力賞 3年 山根 成晴
- JA共済・交通安全ポスター
金賞 3年 山根 充晴 銀賞 2年 畑 翔太 1年 後藤 真実
銅賞 3年 岡本 瑤美 2年 野上 皓平
- 第15回鳥取県ジュニア美術展覧会 写真の部
教育長賞・1年 後藤 真実
- 全国納税貯蓄連合会並びに国税庁が実施する「中学生の税についての作文」
優秀賞 1年 後藤 真実
- 平成29年度鳥取県小中学生科学研究表彰
団体優秀賞 附属中学校科学部 個人優秀賞 1年 後藤 真実
- 第15回 鳥取県ジュニア美術展覧会
写真の部 入選 藤島 賢悟 絵画・デザインの部 奨励賞 岩間 澄怜 入選 松田 恵依
書写の部 奨励賞 筒井 雪未、藤島 賢悟、中島 和香 入選 田村 諒太、米井 みつは

